

JP1 ソリューション

JP1を、より効果的に—。
お客さまのご要望・課題を、よりの確に—。

JP1のエキスパートでなければ、
たどり着けない「答え」がある。

1994年の誕生以来、進化し続けてきた統合システム運用管理、JP1。
日立ソリューションズは、当初より製品の開発に関わるとともに、
幅広い領域で業務への適用を支援し、
お客様の課題一つひとつを解決していく中で、
「JP1のエキスパート」としての実力を蓄えてきました。
お客様の業務を深く理解し、課題解決へのビジョンを共有しながら、
確かな「答え」を見つけます。

運用管理システムにおけるさまざまなご要望・課題に。

JP1 Solution



「JP1のエキスパート」日立ソリューションズが
JP1の実力を最大限に引き出し、お客さまのご要望・課題を
最適なカタチで実現・解決へと導いていきます。

運用管理システムの「導入」「運用」「移行」「連携」に対応した
ソリューションメニューをご用意しています。



運用管理システムの導入計画から設計、 環境構築、テストまでトータルに支援

こんな課題を
解決

- JP1の最新バージョンや新製品を確実に導入したい。
- 業務への影響を抑えつつ、既存のJP1システムを拡張したい。

Point 1

JP1だけでなく、クラウドを始めとする
さまざまな最新技術に精通するエンジニアが導入を支援

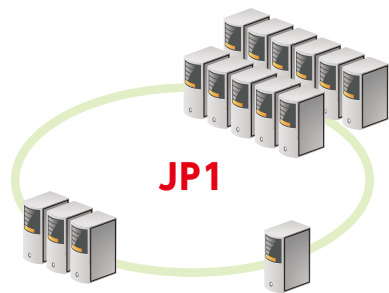
Point 2

JP1製品の開発も手掛けたエンジニアチームが、
導入計画から運用開始までトータルにサポート

JP1を取り巻く環境(規模/導入環境/バージョン/カテゴリ)に垣根なく対応できる技術力でJP1導入を支援します。

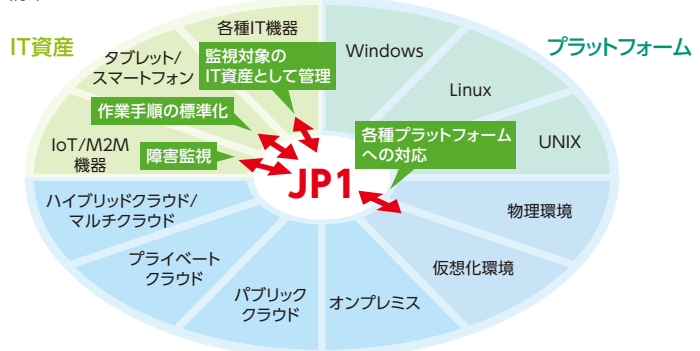
規模

サーバー1台の小規模システムからサーバー
数千台の大規模システムまで、さまざまな
規模に合わせたJP1システムを構築します。



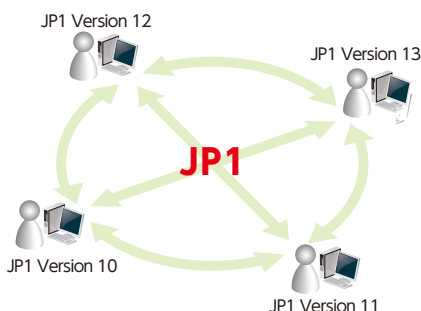
導入環境

稼働OS、仮想化、クラウドなどの各種プラットフォームが混在する環境でも、JP1システムを構築します。



バージョン

JP1の新旧異なるバージョンが混在する場合でも、各バージョン間の接続性を意識した
システムを構築します。



カテゴリ

JP1のさまざまなカテゴリ/製品を利用し、システムを構築できます。

オブザーバビリティ

統合管理
ネットワーク

オートメーション

ジョブ管理
クライアント業務自動化
運用自動化

バックアップ

バックアップ管理

IT資産管理

IT資産・
配布管理

セキュリティ

セキュリティ管理・
情報漏洩防止



業務の運用状況や システムの稼働状況を「見える化」し、 コンサルティングを通じて、運用の課題を改善

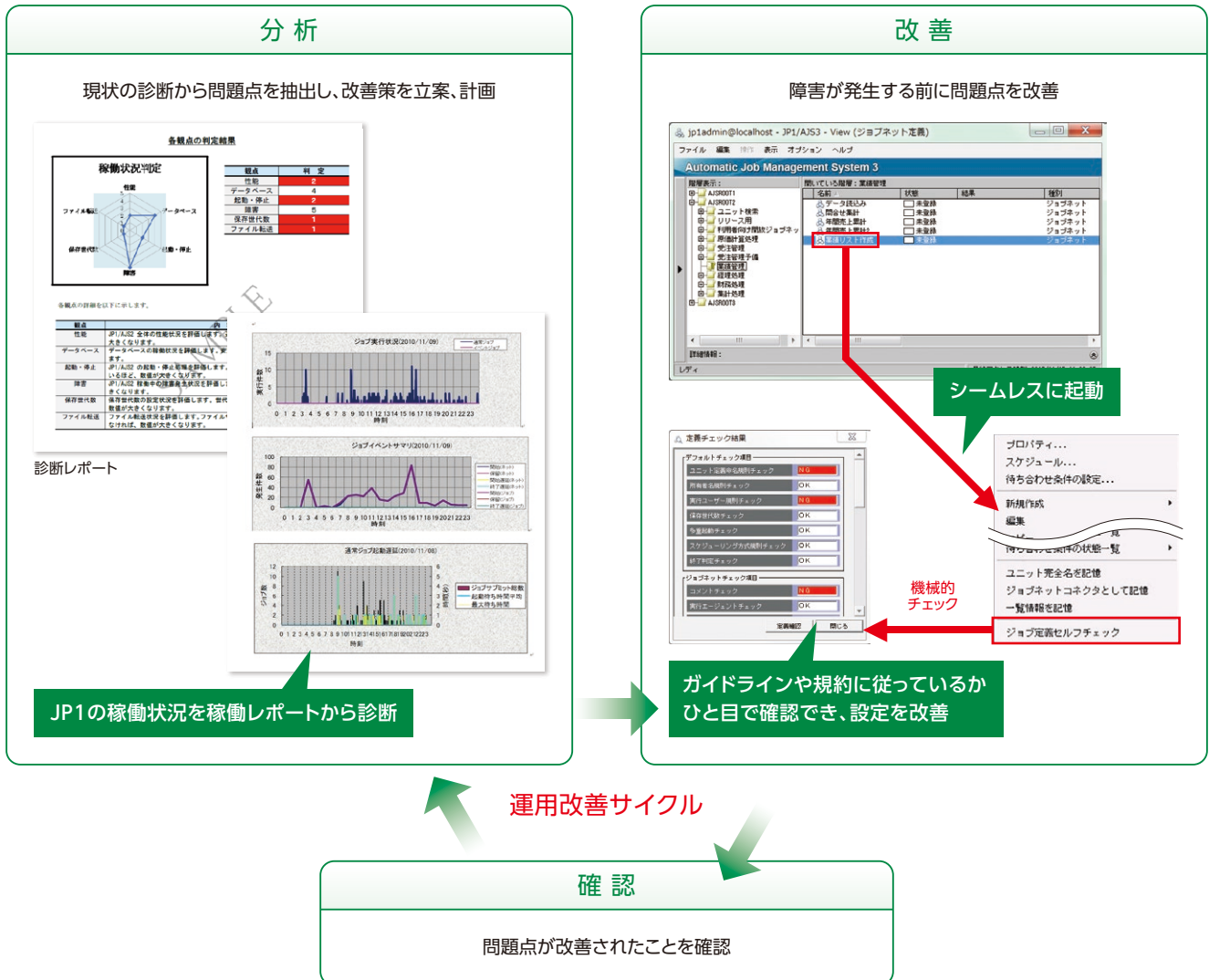
こんな課題を
解決

- なぜジョブがスケジュール通りに実行されないのかなど、現在運用している業務システムの問題点やその原因を知りたい。
- 業務システムを拡張したいが、今のシステム構成・運用方法で問題ないか知りたい。

Point 1 システム運用に精通したコンサルタントが、お客さまに合った効率的で安定した運用の実現を支援

Point 2 システムの稼働状況を横断的に分析し、トラブルを未然に防止

継続的な改善に向け、分析と改善策の立案から、改善策の実施、確認までトータルにサポートします。





他の運用管理製品からJP1への移行を安全・確実に実現するため、移行設計から定義の移行、テストまでトータルで支援

こんな課題を解決

- 現在利用している運用管理システムからJP1製品に移行したい。
- 業務毎にサイロ化しているシステム運用をJP1で一元化したい。

Point 1

移行作業に必要なプロセスのメニュー化や、定義変換の自動化*により、移行期間の短縮と、コストを大幅に削減

Point 2

独自技術による定義情報の自動変換*により、定義変換のミスを排除

Point 3

OSSを含む国内外のさまざまな運用管理ツールからの移行に対応可能

例えば、大量のジョブ定義を移行ツールで自動変換する場合、移行作業の期間を大幅に削減できるなどの効果が得られます。

移行期間の短縮

(当社モデルによる算出)

例えば、**3,000**ジョブの定義変換

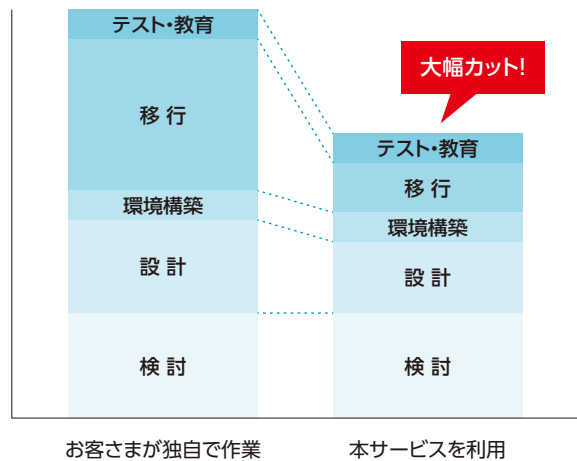
日	月	火	水	木	金	土

20日 → **2日**

手動による定義変換
(8時間/人日)

移行ツール利用による
定義変換

コスト削減



移行作業の全フェーズ



各作業フェーズに対応するサービスについて、すべてのフェーズはもちろん、1つのフェーズだけでも、またどのフェーズからでも利用可能です。

*: 定義情報の自動変換は、JP1ジョブ管理製品への移行において対応しています。



運用システムにおける課題解決のため、 JP1と他製品との連携をご提案

こんな課題を
解決

- 業務に必要な製品をJP1と連携させ運用性を向上したい。
- JP1だけでなく、業務に必要なその他の製品も含め、今抱えている課題について相談したい。

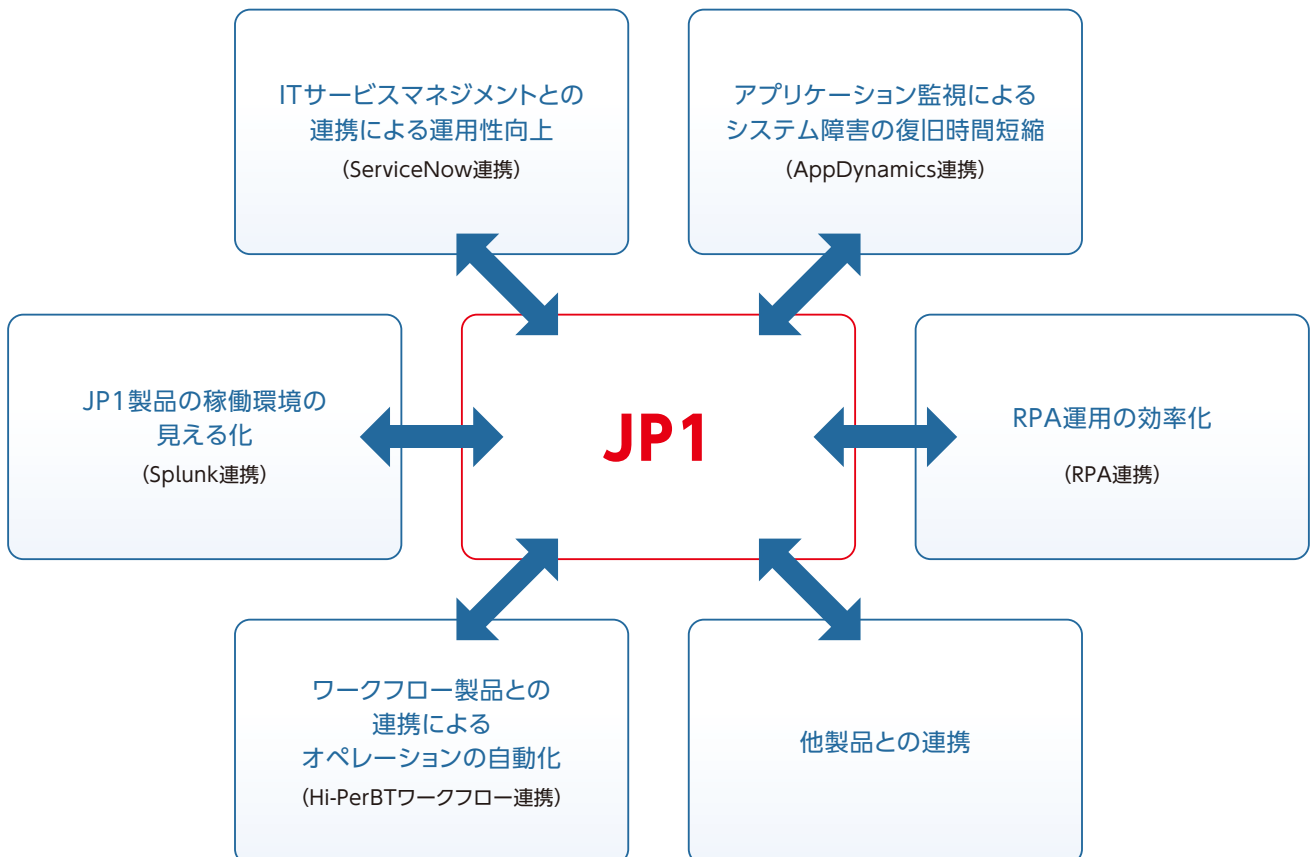
Point 1

さまざまな製品との組み合わせをご提案し、
業務ニーズに合う運用管理の実現を支援

Point 2

JP1だけでなく、連携させる製品にも精通しているエンジニアが担当

お客さまのニーズに適した運用管理を実現するため、他製品の導入およびJP1との連携を
コンサルティングを通じてトータルに支援します。



「JP1のエキスパート集団」日立ソリューションズ。 それを物語る実績をご紹介します。

これまで日立ソリューションズが日本国内および海外で手がけたJP1システムの導入実績は1,000件以上。社内には、延べ1,317名(2020年5月現在)のJP1認定資格保有者がいます。まさにJP1を知り尽くした運用管理のプロ集団、それが日立ソリューションズなのです。
導入事例は下記からご参照いただけます。

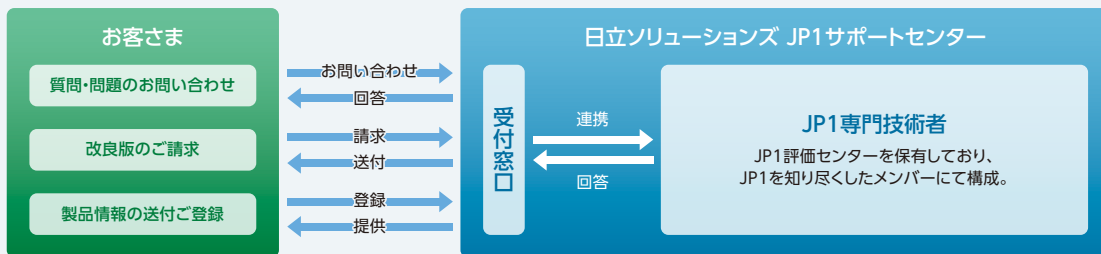
- JP1ソリューション 導入事例 <http://www.hitachi-solutions.co.jp/jp1/case/>

JP1サポートサービス

お客さまのJP1製品に関する質問や問題をいち早く解消し、システムの安定稼働をサポートします。

システムの安定稼働には、ソフトウェアのサポートサービスが必要不可欠です。JP1製品サポートサービスでは、お客さまのJP1製品に関する質問や問題が発生した際、JP1専門技術者がその解決を支援するのはもちろんのこと、JP1製品の開発元である日立製作所の製品サポートセンターとも連携し、よりの確なサポートを提供します。また、JP1製品の改良版や最新製品情報の提供を通じて、お客さまのシステムの安定稼働をサポートします。

● お客さまへの支援体制



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報はWebサイトをご覧ください。

JP1ソリューション

検索

お問い合わせはこちら

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/products/form/?id=jp1>



※JP1は、株式会社日立製作所の日本における商品名称(商標または、登録商標)です。

※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。

※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/jp1/

S11S-32-05

2024.05